

学校や教科を越えてつながる

国語や他教科と連動した学び

国語と連動して学ぶことのできる教材や言語活動を取り上げます。国語の学習事項に配慮した内容となっているので、**国語の授業と合わせた効率的な指導も可能**です。

また、他教科の内容につながる題材を取り上げ、書写での学びを他教科に広げることを意識づけます。

国語との関連

Dマーク(本資料P26-27)で、互いの紙面を見ることが出来ます。



P64-65

1 ポップに書く内容を考える
本の魅力を伝えるために、ポップに書く内容を考えよう。次の項目を参考にしよう。
・書名
・著者・著者名
・イラスト
・キャッチコピー
・伝えたいこと(メッセージ)
・配列
・文字の大きさ

2 下書きを書く
内容を効果的に伝えるために、次の点を工夫して下書きを書こう。何種類か書いて比べて考えよう。
・用紙
・筆
・筆置

3 ポップを作る
下書きをもとに、ポップを作成しよう。

4 ポップを展示して感想を伝えよう
紹介したい本を紹介するコーナーを設けて、感想を伝え合おう。上の3つのポップから一つ選んで、次の観点についてどのような工夫をしているか考えよう。
・用紙
・筆置
・文字の大きさ
・配列

「おばあちゃん、大好き」「アイ・ノウ」
「西の魔女が死んだ」

「おばあちゃん、大好き」「アイ・ノウ」
「西の魔女が死んだ」

「おばあちゃん、大好き」「アイ・ノウ」
「西の魔女が死んだ」

1 紹介したい本を選ぶ
「風を受けて走れ」や、「福祉・共生に関する本を読み、ほかの人に紹介したい本を選ぼう。」

2 ポップに書く内容を考える
ポップには、書名、著者名とともに、その本の魅力を伝えるためのキャッチコピーや宣伝文などを書く。印象に残った表現を引用してもよい。どんなことを書くか読み手に魅力が伝わるかを考えよう。
主人公が、声と響りにパスをかけて、シチュエーションが印象的だったよ。

3 ポップを作る
文字の大きさや配置を工夫してポップを書こう。完成したポップは掲示して、おすすめの本を紹介し合おう。

「おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を伝えよう。」

「おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を伝えよう。」

「おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を伝えよう。」

他教科との関連

他教科の教科書でも、書写の学習を生かす工夫をしています。

P39

●点画の連続や変化に気をつけて、同じ部首の漢字を行書で書こう。
宇宙(うかんむり)
清流(さんずい)
利益(りやく)
損失(そんしつ)
原因(げんいん)
結果(けつこ)

●次の対義語を確かめて、行書で書こう。
利益—損失

P25 社会(歴史)

P28

文字の成り立ちと移り変わり

書写：漢字の成り立ちと移り変わり
国語：「論語」

小学校・高等学校との接続

一年生の冒頭に、小学校書写の復習をする「**小学校の学習を振り返ろう**」を設けました。点画の書き方や字形、配列など小学校で学習してきたことを実際に書いて確かめることができ、改めて自分の書き方や文字を見つめ直すことから、中学校での学びをスタートします。入学当初の生徒の**実態把握にも効果的**です。

1 小学校の学習を振り返ろう

字形と配列を整える書き方

1年

8

高校書道への接続として、文字の芸術性につながる表現効果について考える単元を設けました(三年P86〜87「書き手の意図と表現」)。また、美しい古典作品の写真や高校生が活躍する様子を紹介し(三年P94〜95「古典をもとに」)、**書道への興味関心を高める工夫**をしています。

P8

●点画の書き方

●点画の長さ

●点画の位置

●点画の方向

●点画の折れ

●点画の連続

●点画の間隔

●点画の幅

●点画の中心

●点画の折れ

●点画の連続

●点画の間隔

●点画の幅

●点画の中心

●点画の折れ

●点画の連続

●点画の間隔

●点画の幅

●点画の中心

高校生の活躍

高等学校で書道を学んでいる生徒が、身近な地域でいろいろな活動をしていることもあります。

市の広報誌の題字を書く。

バスに地域のスローガンを書く。

高校野球のフラカートを書く。